

2018年度 専攻医 募集要項

応募資格	2018年3月に初期臨床研修を修了見込みの方(既に初期臨床研修を修了された方もご相談に応じます)
募集診療科・募集人数	・内科 (7名) ・外科 (4名) ・救急科(3名) ・小児科(2名)
応募書類	1. 専門研修プログラム応募申請書(当院指定の様式) 2. 医師免許証写し 3. 臨床研修修了登録証の写しもしくは研修修了見込み証明書 ※当院指定の応募用紙については、当院ホームページよりダウンロードして下さい。
選考方法	随時書類選考および面接を行います。
応募締切	2018年1月15日必着 ※定員になり次第、締め切りますのでお早目にご応募下さい。
試験日程	日・祝日を除く平日随時 ※ご希望の期日を第1希望から第3希望までお伺いし、日程調整の上ご連絡致します。 ※採用選考時にかかる交通費は当院規程により支給致します。
合否通知	1週間～2週間後に郵送とメールにて通知致します。
出願書類の送付・お問い合わせ先	〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422 社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 臨床・教育・研究本部 専攻医担当係 TEL 0942-35-3322(代) FAX 0942-34-3065 8:30～17:00(日曜、祝日を除く) Email pgr@st-mary-med.or.jp
最寄の交通機関	JR九州久留米駅よりバスにて15分(聖マリア病院前バス停下車) 西鉄天神大牟田線試験場前駅より徒歩5分(福岡市内より特急電車で約40分)

※各基本領域学会のホームページにて、必ず提示された期限内に当院研修プログラムへの専攻医登録を各自行って下さい。

勤務条件

身分	専攻医(常勤医)
年収	約9,000,000円～10,000,000円(参考)
基本給与	333,100円(専攻医1年次 2016年度実績) 352,400円(専攻医2年次 2016年度実績) 371,700円(専攻医3年次 2016年度実績)
諸手当	家族手当:有 通勤手当:有(実費支給、最高限度55,000円迄)※自宅から病院までの通勤距離が2km以上に限る 当直手当:有【ER:50,000円/回、その他:20,000円～25,000円/回】 時間外手当:有 住宅手当:有(入寮者以外の方)
昇給	年1回
賞与	年3回【2016年度実績(年間支給率);基準内給与×3.85ヶ月】
勤務時間	8:30～17:00
休日	4週8休制(日曜、祝日含む) ※当院は土曜日も平日勤務体制です
休暇	有給休暇(6ヶ月勤務後10日最高20日)※勤務年数による、残日数は翌年度のみ繰り越し 特別休暇
社会保険	組合健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
福利厚生	健康診断(年2回)、職員寮、制服貸与、共済会制度、職員旅行(国内、海外)、 企業内保育所、永年勤続表彰
退職金制度	支給条件勤続3年以上
その他	学会・研究会等の補助有り(参加費、旅費支給) 英文抄録・論文校正料支給

聖マリア病院 内科専門医研修プログラム（基幹施設）

本プログラムは、福岡県久留米市にある社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院を基幹施設として、福岡県筑後医療圏・近隣医療圏及び遠方にあるものの長期間連携を行っている過疎地の施設を含めた連携施設11施設・特別連携施設1施設とで内科専門研修を行います。

初期臨床研修を修了した内科専攻医は、本プログラム専門研修施設群での3年間または4年間（内科・Subspecialty混合コースの場合）に、豊富な臨床経験を持つ指導医の適切な指導の下で、内科専門医制度研修カリキュラムに定められた内科領域全般にわたる研修を通じて、標準的かつ全人的な内科的医療の実践に必要な知識と技能とを修得します。

<連携施設>

- ・社会福祉法人 恩恵財団 福岡県済生会福岡総合病院
- ・社会医療法人財団 白十字会 白十字病院
- ・医療法人社団 シマダ 嶋田病院
- ・久留米大学医療センター
- ・地方独立行政法人 筑後市立病院
- ・地方独立法人 大牟田市立病院
- ・独立行政法人 国立病院機構 九州医療センター
- ・一般社団法人 日本海員掖済会 門司掖済会病院
- ・社会医療法人 雪の聖母会 聖マリアヘルスケアセンター
- ・医療法人 聖峰会 田主丸中央病院
- ・公立八女総合病院

<特別連携施設>

- ・宗教法人お告げのマリア修道会 聖マリア病院

※プログラムの詳細内容につきましては、内科プログラムPDFをご覧ください。

※『聖マリア病院内科専門医研修プログラム応募申請書』をダウンロードし、ご応募ください。

聖マリア病院群 外科専門研修プログラム（基幹施設）

本プログラムは、聖マリア病院を基幹施設とし、以下の4つの福岡県内外の特色ある病院と連携を組んだユニークな病院群形態での外科専門研修です。全ての病院において経験豊富な指導医を擁し、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、移植外科、さらには軽症～重症、また新生児～成人～高齢者までの外科救急疾患などを満遍なく経験することが可能です。

研修期間は3年間としていますが、専攻医の希望や目標到達度によっては、将来のサブスペシャリティ領域専門医取得を見据えた柔軟な研修プログラム運用を行います。

<連携施設>

・久留米大学病院

（親教育施設としての機能を有し、相互関係が強い）

・社会医療法人 天神会 新古賀病院

（同じ市内、主に心臓血管外科、呼吸器外科が強い）

・独立行政法人 国立病院機構 九州医療センター

（環境もよく、効率的に症例経験が積める）

・長崎県島原病院

（初期研修の関連病院、地域医療の最前線を経験可）

※プログラムの詳細内容につきましては、外科プログラム PDFをご覧ください。

※「[聖マリア病院群外科専門研修プログラム応募申請書](#)」をダウンロードし、ご応募ください。

聖マリア病院 救急科専門研修プログラム（基幹施設）

本プログラムの目的は、「地域住民に救急医療へのアクセスを保障し、良質で安心な標準的医療を提供できる」救急科専門医を育成することです。

研修期間である3年間で、基本的診療能力（コアコンピテンシー）、救急診療、集中治療、病院前救護・災害医療における知識・技能を、基本・応用・実践というように段階を追って修得していただきます。

日本救急医学会の示す救急科領域研修カリキュラムに沿って、疾患、病態、検査・診療手順、手術、手技の基準数を経験するため、基幹施設である当院と下記の4つの連携施設、1つの関連施設での研修を組み合わせています。どのような組み合わせや順番でローテーションしても、公平な指導内容、経験症例数となるように十分配慮いたします。

<連携施設>

- ・佐賀大学医学部附属病院
- ・山口大学医学部附属病院
- ・社会医療法人仁愛会 浦添総合病院
- ・岡山大学病院

<関連施設>

- ・医療法人社団慶仁会 川崎病院

※プログラムの詳細内容につきましては救急科プログラムPDFをご覧ください。

※『聖マリア病院救急科専門研修プログラム応募申請書』をダウンロードし、ご応募ください。

聖マリア病院 小児科専門研修プログラム（基幹施設）

小児科専門プログラムでは、「子どもの総合診療医」「育児・健康支援者」「子どもの代弁者」「学識・研究者」「医療のプロフェッショナル」の5つの資質を備えた小児科専門医を目指します。

当院小児科は「小児科」「新生児科」「小児循環器科」で構成されています。

日本小児科学会が定めた到達目標「小児科専門医の役割」「経験すべき症候」「経験すべき疾患」「習得すべき診療技能と手技」を3年間で習得・経験していきます。また、連携施設3施設と関連施設1施設にてそれぞれの施設の特徴である領域を、経験豊富な指導医のもとで研修することができます。

<連携施設>

- ・久留米大学病院
- ・国立病院機構東佐賀病院

・JCHO九州病院

<関連施設>

- ・宗教法人お告げのマリア修道会 聖マリア病院

※プログラムの詳細内容につきましては小児科プログラムPDFをご覧ください。

※『聖マリア病院小児科専門研修プログラム応募申請書』をダウンロードし、ご応募ください。